

第4章. 新庁舎の導入機能

4. ユニバーサルデザイン機能

高齢者や障がい者をはじめ、来庁者の誰もが安全で快適に利用できる庁舎とするため、ユニバーサルデザイン※¹を導入する必要があります。

(1) わかりやすさへの配慮

- わかりやすさを優先した案内サインを導入する必要があります。壁や柱面の色分けや、課係名に加えて手続き内容を表示する看板などの視覚情報、音声・音響情報、触知情報などの設備機能を検討し、初めて訪れた来庁者にもわかりやすい施設とする必要があります。



【わかりやすい窓口（岩内町役場）】



【わかりやすい案内掲示板（幕別町役場）】

(2) 快適な移動空間

- 敷地内通路は、複雑な移動とならないようにわかりやすく連続性のある移動経路とする必要があります。
- 庁舎内の廊下は、車椅子やベビーカー利用者にも配慮し、段差解消やゆとりがある幅、転回が出来るスペースを設ける必要があります。また、エレベーターや階段は、主要な出入り口からわかりやすい位置に配置することが望ましい。



【わかりやすい移動経路（岩内町役場）】



【わかりやすい位置にある階段（北広島市役所）】

(3) 多様な利用者への配慮

- 子供連れの来庁者のために、授乳室やベビーベッド、キッズスペースなどの設置を検討する必要があります。
- 各階の適切な位置に衛生的で清潔感のあるトイレを配置します。トイレには、オストメイト・車椅子対応の多目的トイレを併設するとともに、子育て世代や高齢者などさまざまな来庁者に対応するため、チャイルドシートや手すりを設置する必要があります。



【多目的トイレ（幕別町役場）】



【キッズスペース（北広島市役所）】

※1 ユニバーサルデザイン…障がいの有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス・環境をデザインする考え方